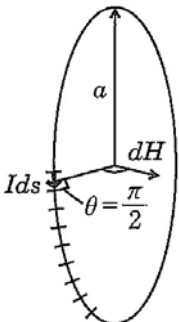


本書には下記のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

箇所	誤	正
p.48 3行目	$E (\Rightarrow)$	$\boldsymbol{E} (\Rightarrow)$ (太字にする)
p.51 7～8行目	・・・平面の面積 $s=$ ・・・	・・・平面の面積素片 $s=$ ・・・
p.53 7行目	ジュール (ルビ)	ジュール
p.68 6～7行	・・・静電容量を大きくするためには、導体板の面積を大きくすることと間隔を短くすることである。	・・・静電容量は導体板間の間隔を短くするか導体板の面積を増やすと増加する。
p.69 11～12行	・・・静電容量を大きくするには、内球と外球の間隔を短くすることである。	・・・静電容量は内球と外球の間隔を短くすると増加する。
p.70 4～5行	・・・静電容量を大きくするには、同軸円筒導体の内外半径の間隔を短くすることである。	・・・静電容量は同軸円筒導体の内外半径の間隔を短くすると増加する。
p.118 式4-22の説明文	関数 A	関数 A
p.128 図 4.30	(図を右のように訂正いたします)	
p.140 下から4行目	導体中に	非磁性導体中に
p.141 18～19行 23行	・・・正孔キャリアの面密度を p [個/ m^2] キャリアの面密度	・・・正孔のキャリア密度を p [個/ m^3] キャリア密度
p.151 11行目	静電界で求めたガウスの法則では、	電束密度に関するガウスの法則 (式 3-35) によると、
p.151 13行目	磁石のN極ないしはS極を内部に置いた	(削除)

箇所	誤	正
p.152 7行目	境界面に垂直で無限小の辺 $d\boldsymbol{s}$ [m] からなる閉曲線を考えると	境界面に平行な辺 $d\boldsymbol{s}$ [m] と垂直で無限小の辺からなる閉曲線を考えると
p.152 下から 1 行目	学んだ電界の境界条件	学んだ電束密度と電界の境界条件
p.218 問題 8 3行目	…。始め	…。初め
p.220 5行目	法線ベクトル	法線単位ベクトル
p.229 5行 12行	E B	$\boldsymbol{E}$ $\boldsymbol{B}$
p.243 問題 3	希ガスイオンレーザ Kr^+	Kr^+ 希ガスイオンレーザ